

平成 30 年
第 1 回町議会定例会

行政報告

(平成 30 年 3 月 16 日)

幕別町長 飯田 晴義

お許しをいただきましたので、3月1日の降雪による被害状況と8日から9日にかけての降雨等に伴う対応と被害状況につきまして、ご報告をさせていただきます。

（3月1日の降雪による被害状況）

はじめに、3月1日の降雪による被害状況について、申し上げます。

先の行政報告において、農業被害については一部の被害を除き調査中である旨をお伝えしておりましたが、その後の調査の結果、営農施設として、D型ハウス2棟、ビニールハウス3棟、格納庫2棟、乾燥庫1棟、堆肥舎1棟の計9棟が倒壊、牛舎3棟の屋根が一部損壊するなど、合計12棟の施設で被害が発生いたしました。

被害を受けた建物等につきましては、国や道などの支援がないことから農協を通じ、ゆとりみらい総合資金貸付金の活用について、周知を図ったところであります。

（3月8日から9日にかけての降雨等に伴う対応と被害状況）

次に、3月8日から9日にかけての降雨等に伴う対応と被害状況について、申し上げます。

はじめに降雨等に伴う対応についてであります。

8日夕方から前線を伴った低気圧が発達しながら北海道付近を通過し、暖かく湿った空気が流れ込んだ影響により、十勝地方では3月としては記録的な降水量になり、本町においても降り始めから9日14時までに糠内で71ミリを観測いたしました。

町では、事前に融雪水と降雨による道路の冠水と宅地への浸水が予想されたことから、6日から主要な幹線道路の排雪作業を行い、7日から雨水排水柵の除雪作業を町内4業者に委託し準備を進めておりました。

8日夕方から降り始めた雪が9日の午前1時には、降雨に変わったため、2時から町道の状況についての情報収集と、国道・道道の各道路管理者との情報共有に努めたところであります。

午前4時には雨足が強まったため、第1次警戒体制に準じた体制を敷き、6時から

雨水排水桝の除雪作業を町内 11 事業者を増やすとともに町職員 28 名体制で対応したところであります。

さらには、降雨による圧雪路面の交通障害が発生したため、7時30分から町内5事業者により路面整正を行ったところであります。

また、忠類地域においては、9日、10時に下チュウレイ川の水位の上昇が確認され内水氾濫のおそれがありましたことから、忠類コミュニティセンターに避難所を開設いたしましたが、避難された方はなく、その後、水位の低下を確認し、16時に避難所を閉鎖したところであります。

次に、被害状況についてであります。

建物の浸水被害につきましては、幕別地域では住家の床上浸水1件、床下浸水4件、非住家の床上浸水1件、忠類地域では非住家の床上浸水1件を確認しております。

また、道路関係については、町道稲志別線ほか5路線で路肩崩壊が1か所、横断管埋塞が1か所、側溝土砂埋塞が4か所の被害が発生しておりますが、いずれも年度内の復旧を予定しているところであります。

以上、3月1日の降雪による被害状況と3月8日から9日にかけての降雨等に伴う対応と被害状況につきましてのご報告とさせていただきます。